

日本社会福祉学会 第47回全国大会を終えて

大会実行委員会事務局長 竹内一夫

日本社会福祉学会第47回全国大会は、出足から新幹線トンネル崩落事故という、思いもかけないハプニングに見舞われました。事故発生 of ニュースを耳にして、心早に大学に向かい部屋に着いた途端に外部からの電話対応に追われ、果たして大会が運営できるのだろうかという不安に襲われました。発表者が行けそうにない、司会者が行けそうにないという連絡のはいる中、待機をしておいた理事の方々が、司会のピンチヒッターを次々に引き受けて下さり、発表者は欠けるものの、自由研究発表の会場は時間通りにスタートしていき、ほっと一息着いたのは11時過ぎでした。

このようにして幕を開けた今大会でしたが、期間中は事故という事故もなく、何とか無事に大会を終えることができました。学会員の皆様の寛容なお気持ちとご協力、学会理事の方々の大きなお力添えがあったからこそと、実行委員会を代表し、改めてお礼申し上げます。

社会保障構造改革、それに引き続く社会福祉基礎構造改革を受けて、変化していく諸状況の中で、「社会福祉の理論はどうあるべきだろう、またその実践は」と実行委員会の中での討議が行われ、また理事会とも相談をさせていただき、最終的に「岐路に立つ社会福祉の理論の動向と課題」を大会テーマとして、第47回全国大会を行うことになりました。

記念講演では福祉産業という言葉が用いられ、民間参入が目前に控えていることをふまえ、「産業の視点から見た福祉」というテーマのもと、大臣官房審議官太田房江氏に講演をいただきました。高齢社会の中で福祉が社会に経済活動を支える大きな柱となるということを改めて確認させていただくことができました。

シンポジウムでは、大会テーマをそのままシンポジウムのテーマとし、東洋大学／古川孝順先生、関西学院大学／芝野松次郎先生、ルーテル学院大学／市川一宏先生をシンポジストに、コメンテーターとして、大阪市立大学／白澤政和先生、東海大学／北島英治先生を、コーディネーターとして、福岡県立大学／宮崎昭夫先生、広島女子大学／鈴木務先生を迎え、社会福祉



理論、実践にわたる現状と課題を整理していただくと共に、今後のあるべき方向に関して多くの示唆をいただきました。

また今回から初めてプログラムに取り入れた自主企画シンポジウムでは5題のシンポジウムを実施できました。それぞれ大会のメインテーマを受け社会福祉理論と実践を取り上げていただいたものであり、大会シンポジウムと連動し、参加者に多くの学びを与えて下さるものとなりました。

自由研究発表も379件（内ポスター発表26件）あり、16分野60会場への割付には大変な時間と手間を要しましたが、発表者の皆様には、また各発表会場にご参集下さった学会員諸氏には、ご納得いただけるようにはできなかったことと、心苦しく感じています。また同様に、各発表会場の司会を引き受けていただいた方々にも、各自の専門としておられることと合致しない演題もあり、ご迷惑をおかけしたことと存じますが、お許しいただきたいと存じます。大会全参加者は、大会運営を手伝ってくれた約200名の学生ボランティアを除き、1543名になりました。

懇親会は、倉敷チボリ公園の中のアンデルセンホールで行いました。当初大学でという案もありましたが、本学内で300名近い人員を収容できる場所の確保が難しく、せっかく倉敷にきていただけるのなら、ふだん個人的には入場の機会が少ないチボリ公園内ということになり、今回の会場に決定いたしました。少し歩いていただく時間がかかるということはありませんでしたが、



現代の若者の様子を見ていただくには良い機会であろうと、あえてチボリ公園を選びました。これには260名を超える方の参加を得、皆様から「楽しめたよ」というお声をかけていただき、ほっとしました。

また今回、皆様に資料を入れてお渡ししましたバックは、岡山県下の障害者の作業所数カ所にお渡しし、制作していただいたものです。また休憩所に配備させていただいたお菓子も地域の福祉施設にお願いをし焼き上げていただいたものです。学会開催の地域還元の一つとして、先輩校の明治学院のアイデアをいただいたのですが、施設の方々からはたいへん喜んでいただきました。感謝をし報告させていただきます。

最後に開催校として、大会運営に関する問題点と、今後への提言をさせていただき、この報告を閉じさせていただきます。

・参加者数把握の困難さ

今回の大会でも、参加の事前登録は学生をいれ約900人でありました。大会運営にあたるものとして最後まで、実行予算を組むのに苦労し続けました。また会場の確保についても同様です。参加者が確定しておればそれなりに合理的に運営計画が立てられます。今回のような不測の事態はないとは思いますが、現状のように不確定要素の多い当日会員を予測した予算案では、今回のような事故が発生した場合、開催校の負担が大きくなりすぎる可能性があります。従って、事前に参加者数の確実な把握の方法を考える必要があります。

・自由研究発表の申込期日の厳守について

今回450件の研究発表の申込がありましたが、実際の締切日に間に合ったのは400件、あとの50件は締切

日までに連絡があり、遅れて送付されてきたものでした。これ以降も約30件の問い合わせが続き、締切日以降受け付けないのは厳しすぎるという意見もありびっくりさせられました。

また締切日までに実際に概要集の原稿を送付してこられた会員は349件であり、督促後送付があったのは30件、合計379件の発表となりました。この間発表取消しの連絡があったのはほんの数件であり、約70件は何の連絡もないままでした。

・A V機器の使用について

A V機器の使用についても、事前に確認をさせていただいているにも関わらず、直前まで問い合わせ、変更、追加の依頼があり、全教室に配備されているものとは違うだけに、たいへん煩雑な作業となりました。

またパソコンと液晶プロジェクターでの発表に関して、今回持ち込みを依頼しましたが、それを十分理解されない方も見られました。

以上述べました3点の実務を、今回は外部委託いたしました。そのためかなり事務的に処理をさせていただいてはしましたが、経済的には大きな負担となります。今後ますます会員も増え、海外との交流も増えることを考えますと、事務処理もますます煩雑になり、開催校だけで対応する限界にきているように思います。参加にともなう費用の事前入金徹底と共に、参加費の値上げ等による経済基盤の確保と、事務処理の外部委託による大会運営を行う時期にきているように感じました。

あらためて学会員の皆様に感謝を申し上げ、大会報告とさせていただきます。

1999年度 総会報告

1999年度の総会は、10月9日に川崎医療福祉大学の体育館で開催されました。

開催校江草安彦大会委員長、開催校挨拶に続き、議長に野上文夫会員（神戸看護大学）と開催校から関谷真会員（川崎医療福祉大学）が選出され、下記の議事が審議され、承認されました。

本年度は、大会の両日に韓国より韓国社会福祉学会会長および事務局長をご招待し、大会を視察いただきました。

これに先立ち総会では、ご挨拶をいただき、韓国の社会福祉学会のご紹介や、今後両国の社会福祉学会の交流について期待をされました（挨拶要旨は3頁）。

最後に、次期開催校の日本女子大学田端光美大会委員長より、第48回大会の参加呼びかけのご挨拶があり

ました。

●総会議案●

第1号議案 1998年度事業報告及び・監査報告

第2号議案 1999年度補正予算案

第3号議案 2000年度事業計画・予算案

第4号議案 機関紙編集規定の改定

（報告事項）①韓国社会福祉学会会長等の招待及び交流について

②英文誌の刊行について

③会員数の現況

④ 地方部会報告

⑤日本学術会議会員候補予定者および推薦人の選挙

⑥2000年度全国大会開催校について

第1号議案

I. 日本社会福祉学会第46回全国大会・総会の開催及び第47回全国大会開催の準備

1. 日本社会福祉学会第46回全国大会

開催日 1998年10月17日(土)、
18日(日)

会場 明治学院大学・白金校舎
大会事務局 明治学院大学

大会テーマ 「わが国におけるソーシャルワーク研究の到達状況について」

参加者 約1,400名

2. 総会の開催

開催日 1998年10月17日(土)午後
0時20分～午後2時

会場 明治学院大学・白金校舎

内容 ①規約一部改正、
②1998年度事業報告及び
決算・監査報告
③1999年度事業計画案・
予算案
④理事及び監事選挙の結果について
⑤理事及び監事選挙の承認について
⑥名誉会員の承認について
他

3. 日本社会福祉学会第47回全国大会(川崎医療福祉大学)開催の準備を行った。

II. 理事会・運営委員会の開催

1. 理事会を4回開催し、324名の会員の入会を承認した。

1998年度日本社会福祉学会収支計算書

自1998年4月1日 至1999年3月31日

収入額 35,582,723円
支出額 30,213,426円
差引額 5,369,297円

(1) 収入の部

(単位:円)

科 款	目 項	予算額	決算額	比較増減 (△)	摘 要
1 会費収入	1 会費収入	19,190,000	24,061,000	4,871,000	98年度分 20,563,000円 (含新入会員333人分 2,664,000円) 過年度分 3,498,000円
2 機関誌売上	1 機関誌売上	320,000	641,282	321,282	「社会福祉学」200冊×3200円
3 寄付金収入	1 寄付金収入	1,000	0	△ 1,000	
4 補助金収入	1 補助金収入	200,000	200,000	0	文部省出版
5 助成金収入	1 助成金収入	0	0	0	
6 雑収入		22,000	266,287	244,287	
	1 預金利子	7,000	3,595	△ 3,405	銀行利子
	2 名簿作成費積立金	0	0	0	〃
	3 大会費補助積立金	0	0	0	〃
	4 定期預金	5,000	0	△ 5,000	〃
	5 その他	10,000	262,692	252,692	資料代・出版著作権料・前事務所敷金の返金
7 積立金取崩収入	1 積立金取崩収入	0	0	0	
8 繰越金収入	1 繰越金収入	10,414,154	10,414,154	0	
合 計		30,147,154	35,582,723	5,435,569	

(2) 支出の部

(単位:円)

科 款	目 項	予算額	決算額	比較増減 (△)	摘 要
1 事業費		12,650,000	13,366,413	716,413	
	1 大会費	2,000,000	2,000,000	0	明治学院大学
	2 機関誌刊行費	5,700,000	5,936,495	236,495	社会福祉学 39-1, 2
	3 部会還元費	1,900,000	2,137,850	237,850	会費の10%
	4 特別委員会費	100,000	15,000	△ 85,000	
	5 特別事業費	1,480,000	1,480,000	0	特別事業66万 助成金事業82万
	6 学会通信刊行費	1,200,000	1,530,068	330,068	学会ニュース印刷 No1・2・3・4
	7 選挙管理費	30,000	27,000	△ 3,000	
	8 学術会議費	240,000	240,000	0	日本学術会議研究連絡委員会活動協力金
2 事務費		10,880,000	12,103,083	1,223,083	
	1 会議費	200,000	334,873	134,873	理事会等
	2 理事会運営費	1,200,000	1,527,605	327,605	理事旅費・活動費等
	3 消耗品費	280,000	344,140	64,140	印刷用紙・事務用品等
	4 印刷費	800,000	522,540	△ 277,460	総会資料・振込用紙・封筒印刷費等
	5 通信費	1,750,000	1,918,780	168,780	郵送料金等
	6 人件費	3,550,000	3,939,350	389,350	事務局職員給与・アルバイト手当等
	7 交通費	200,000	187,980	△ 12,020	事務局職員・アルバイト出張交通費
	8 事務所費	2,900,000	3,327,815	427,815	事務所賃借料・光熱費・電話・書庫・ テーブル・ワープロ・引越し費用
3 積立金繰出	1 積立金繰出	4,700,000	4,700,000	0	特別事業費積立 100万 運営基金 370万
4 予備費	1 予備費	1,917,154	43,930	△ 1,873,224	ホームページ委員会
5 次期繰越金	1 次期繰越金	0	5,369,297	5,369,297	
合 計		30,147,154	35,582,723	5,435,569	

韓国会長挨拶要旨

韓国社会福祉学会
会長 金 聖二



2000年をまじかに迎えているこの日に、韓国の社会福祉学会を代表して日本社会福祉学会の総会の場で日本と韓国の社会福祉情報交流を確約する喜びを味わうことが無限の栄光であると思っています。

これまで、日本と韓国は各々の社会福祉の発展のために力を尽くしてきました。その結果、日本の社会福祉の発展はすでに東南アジア各国のモデルとして認定されています。わが国の一部の社会福祉関連制度も日本をモデルにしています。このような日本の社会福祉発展の背景

には日本社会福祉学会会員の絶えない努力が大きな力になったと思われます。

わが韓国社会福祉学会においても韓国の社会福祉発展に努力してまいりました。たったひとつの学会として出発した韓国社会福祉学会の傘下には、児童福祉学会、家族社会福祉学会、老人福祉学会、精神保健社会学会、社会福祉行政学会、地域社会福祉学会など、専門分科学会を6つももつほど発展してきました。ここに参加している学会会員数はすでに1,500人を超えています。

福祉を意味する“welfare”と学問を意味する“logy”が合体された“welfarelogy”という新しい福祉学の誕生が期待されます。この新しい福祉学の誕生のために、そして、私たちが創造した福祉学が全人類の幸福を担うよう祈ります。

ありがとうございました。



(開催日 1998年7月10日、10月16日～18日、12月24日、1999年3月7日)

2. 新理事会を1回開催(1998年10月17日)
3. 運営委員会を4回開催(1998年6月29日、10月6日、12月14日、1999年2月16日)

Ⅲ. 理事及び監事選挙の実施

1. 選挙管理委員会を開催し、理事及び監事選挙を実施した。
2. 会員名簿や投票用紙の作成及び送付を行った。

Ⅳ. 機関誌の刊行

機関誌「社会福祉学」39-1号(掲載論文数8、研究ノート10)を1998年6月に、39-2号(掲載論文数8、研究ノート10)を1月に刊行した。

Ⅴ. 学会ニュースの発行

学会ニュースを4号発行した。(No.17、18、19、20、)

Ⅵ. 地方部会活動の支援

公開シンポジウムの開催や部会還元金等で、地方部会活動の活性化を支援した。

Ⅶ. 日本学術会議への協力

日本学術会議社会福祉・社会保障研究連絡委員会への活動協力を行った。

Ⅷ. 特別委員会の事業を実施

1. 学会主催公開シンポジウム委員会

公開シンポジウムを開催し(以下の3か所)、報告書の刊行準備を行った。

- ①〔期日〕 1998年9月23日(日)
10:00～17:00
〔会場〕 駒沢大学(東京)
〔テーマ〕 社会福祉基礎構造改革
- ②〔期日〕 1998年11月7日(土) 13:00～17:00
〔会場〕 衛生会館5階中ホール(岡山)
〔テーマ〕 社会福祉基礎構造改革
- ③〔期日〕 1998年11月21日(土) 14:00～17:00
22日(日) 9:30～15:00
〔会場〕 東北福祉大学(仙台)
〔テーマ〕 社会福祉基礎構造改革とは何か

特別会計(1) 1998年度日本社会福祉学会運営基金会計収支計算書

自1998年4月1日 至1999年3月31日

収入額 5,399,260円
支出額 4,769,793円
629,467円

(1) 収入の部

(単位:円)

科	目	予算額	決算額	比較増減(△)	摘要
款	項				
1 名簿作成費	1 名簿作成費	1,695,088	1,698,910	3,822	
2 利子	1 利子	3,000	350	△ 2,650	
3 積立金繰入	1 積立金繰入	2,700,000	3,700,000	1,000,000	
合 計		4,398,088	5,399,260	1,001,172	

(2) 支出の部

科	目	予算額	決算額	比較増減(△)	摘要
款	項				
1 名簿作成費	1 名簿作成費	4,348,088	4,769,793	421,705	名簿印刷費・郵送費
2 予備費	1 予備費	50,000	0	△ 50,000	
合 計		4,398,088	4,769,793	371,705	

特別会計(2) 1998年度日本社会福祉学会特別事業会計収支計算書

自1998年4月1日 至1999年3月31日

収入額 1,920,864円
支出額 1,228,735円
692,129円

(1) 収入の部

(単位:円)

科	目	予算額	決算額	比較増減(△)	摘要
款	項				
1 事業費繰入	1 事業費繰入	660,000	660,000	0	一般会計特別事業費より繰入
2 特別事業費積立金繰入	1 特別事業費積立金繰入	1,000,000	1,000,000	0	
3 利子	1 利子	2,000	364	△ 1,636	
4 雑収入	1 雑収入	200,000	260,500	60,500	資料代
合 計		1,862,000	1,920,864	58,864	

(2) 支出の部

科	目	予算額	決算額	比較増減(△)	摘要
款	項				
1 事業費	1 事業費	1,180,000	1,198,735	18,735	公開シンポジウム
2 会議費	1 会議費	300,000	30,000	△ 270,000	会議諸費
3 予備費	1 予備費	382,000	0	△ 382,000	
合 計		1,862,000	1,228,735	△ 633,265	

特別会計(3) 1998年度日本社会福祉学会助成金事業会計収支計算書

自1998年4月1日 至1999年3月31日

収入額 3,820,880円
支出額 1,719,176円
2,101,704円

(1) 収入の部

(単位:円)

科	目	予算額	決算額	比較増減(△)	摘要
款	項				
1 事業費繰入	1 事業費繰入	820,000	820,000	0	
2 助成金収入	1 助成金収入	1,500,000	3,000,000	1,500,000	安田火災記念財団助成
3 利子	1 利子	2,000	880	△ 1,120	
合 計		2,322,000	3,820,880	1,498,880	

(2) 支出の部

科	目	予算額	決算額	比較増減(△)	摘要
款	項				
1 研究費	1 研究費	900,000	420,000	△ 480,000	文献収集費他
2 会議費	1 会議費	300,000	299,176	△ 824	会議諸費(英文誌会議含む)
3 出版費	1 出版費	1,000,000	1,000,000	0	出版一部負担金(有斐閣)
4 予備費	1 予備費	122,000	0	△ 122,000	
合 計		2,322,000	1,719,176	△ 602,824	

2. 国際比較研究事業(安田記念財団助成事業)

- ①研究委員会を3回開催した。(7月、9月、3月)
- ②「社会福祉の国際比較—研究の視点・方法と検証」の刊行の準備を行った。

3. 記念出版刊行委員会

- ①編年史編集の準備を行った。
- ②講座刊行の準備を行った。

4. 英文誌刊行委員会

委員会を開催し、刊行の準備を進めた。



日本社会福祉学会一般会計 貸借対照表

1999年3月31日現在

資 産 の 部		負 債 ・ 純 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1. 流動資産	5,442,797	1. 流動負債	73,500
普 通 預 金	3,969,107	前 受 金	73,500
郵便振替貯金	49,000		
立 替 金	1,424,690		
2. 固定資産		2. 固定負債	0
繰 延 資 産	1,558,124		
		3. 運用財産	6,927,421
		運用財産基金	1,558,124
		繰越金	5,369,297
合 計	7,000,921	合 計	7,000,921

特別会計(1)

(単位:円)

1998年度日本社会福祉学会運営基金会計 貸借対照表

1999年3月31日現在

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 ・ 純 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1. 流動資産	629,467	1. 流動負債	0
普 通 預 金	629,467		
		2. 繰越金	629,467
合 計	629,467	合 計	629,467

特別会計(2)

1998年度日本社会福祉学会特別事業会計 貸借対照表

1999年3月31日現在

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 ・ 純 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1. 流動資産	692,129	1. 流動負債	0
普 通 預 金	692,129		
		2. 繰越金	692,129
合 計	692,129	合 計	692,129

特別会計(3)

1998年度日本社会福祉学会助成金事業会計 貸借対照表

1999年3月31日現在

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 ・ 純 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1. 流動資産	2,101,704	1. 流動負債	0
普 通 預 金	2,101,704		
		2. 繰越金	2,101,704
合 計	2,101,704	合 計	2,101,704

日本社会福祉学会財産目録

1999年3月31日現在

摘 要		金 額	金 額
内 訳		金 額	金 額
[資産の部]		円	円
Ⅰ 流動資産			
1. 預 貯 金			
(1) 普通預金			
通常預金 郵便局	№33688971	0	
第一勧業銀行・四谷支店	№1859336	3,969,107	
(一般会計)			
第一勧業銀行・四谷支店	№1866235	629,467	
(特別会計1 学会運営基金会計)			
第一勧業銀行・四谷支店	№1868254	692,129	
(特別会計2 特別事業会計)			
第一勧業銀行・四谷支店	№1868262	2,101,704	7,392,407
(特別会計3 助成金事業会計)			
(2) 郵便振替貯金			
東京貯金事務センター (00150-5-59882)		49,000	49,000
2. 立 替 金			
(1) 日本地域福祉学会		1,424,690	1,424,690
流 動 資 産 合 計			8,866,097
Ⅱ 固定資産			
1. 繰延資産			
(コンピューター会員管理システム)		959,960	
(ワープロ OASYS LX-9000)		138,621	
(書 庫)		459,543	1,558,124
固 定 資 産 合 計			1,558,124
資 産 合 計			10,424,221
[負債の部]			
Ⅰ 流動負債			
1. 前受金 (1999年度以降会費)		73,500	73,500
流 動 負 債 合 計			73,500
負 債 合 計			73,500
差引正味財産合計			10,350,721

5. ホームページ委員会

委員会を開催し、日本社会福祉学会ホームページ開設に向けて準備を行った。

Ⅹ. 会費請求等の業務

1. 通常の会費請求(1回)の他に、未納の会員には督促を行った。
2. 3年以上の会費未納者に対して、会員資格の存続意志についてアンケートを実施し、督促を2回行った。会費の納入がない会員には、理事会において退会とした。

3. 住所変更・勤務先変更手続き等の業務を行った。

4. その他 情報提供等

Ⅹ. 事務局体制の整備

1. 日本地域福祉学会との合同事務所が、日本社会事業学校連盟と共同で部屋を借りることとなり、5月に移転した。
2. 運営委員会を3回開催し、月1回の事務局会議の他、必要に応じ(週1回程度)関係理事との打合せをおこなった。

監 査 報 告 書

1. 監査事項

日本社会福祉学会1998年度実施事業並びに会計決算について

2. 結果報告

監査の結果、事業は適正に実施され、また会計決算については、収支計算書、貸借対照表及び財産目録と諸帳簿、証憑書類を対照検査し、正確に処理されていることを認めます。

1999年6月11日

日本社会福祉学会

監事 佐藤 進

監事 中垣 昌美

監査報告と要望事項

1999年6月11日
監事 中垣 昌美
佐藤 進

1999年6月11日に1998年度事業・会計監査を行いました。会員増加ならびに法人化などの学会組織の在り方など、事務処理上のご苦労があるにもかかわらず、事務局スタッフ春山、村上両氏の努力などにより、会計ならびに会務執行状況が適正に行われていたことを認めましたので、別紙のように報告させていただきます。

本学会の事業推進が今後一層効率的かつ適切に行われますよう、以下の諸点について理事会において検討され改善されていくよう要望いたします。

- 1998年度において、3年以上の会費未納者の確認とその事務処理が迅速、適切になされていることを評価し、今後も学会規約第8条2項に基づき、促進されるように努力されること。
- 1998年度日本社会福祉学会収入、支出とが、当初予算と収支即応するように策定されており、補正により収支を即応させる場合でも、その年度決算によって処理されている表までで十分であり、前年度予算増減比較は、摘要に記載することが良いのではないかと検討されたい。(収支報告の在り方についての検討)
- 決算報告書のうち、次年度への「繰越金」は別掲ではなく、支出表の最下段に掲載すると、収入額と同額になり、わかりやすいので、検討されたい。
- 「日本学術会議費項目」については、「日本学術会議研究連絡委員会活動協力金」とされることを要望する。
- 「特別事業費」項目については、長期、短期事業特別会計として、再検討を要望する。
- 「学会通信刊行費」項目を「学会ニュース刊行費」と名称を変更する。

第2号議案

1999年度日本社会福祉学会会計補正予算

自1999年4月1日 至2000年3月31日

(1) 収入の部

(単位：円)

科	目	補正 予算額	当初 予算額	比較増減 (△)	摘 要
款	項				
1 会費収入	1 会費収入	21,520,600	20,430,000	1,090,600	3348人×0.85×7,000=19,920,600円 200人×8,000=1,600,000円
2 機関誌売上	1 機関誌売上	500,000	500,000	0	「社会福祉学」100冊×5000円
3 寄付金収入	1 付金収入	0	1,000	△ 1,000	
4 補助金収入	1 補助金収入	0	200,000	△ 200,000	
5 助成金収入	1 助成金収入	0	0	0	
6 雑収入		2,015,000	18,000	1,997,000	
	1 事業費繰入	2,000,000	0	2,000,000	助成金事業特別会計3)より
	2 預金利子	5,000	5,000	0	銀行利子
	3 定期預金	0	3,000	△ 3,000	〃
	4 その他	10,000	10,000	0	資料代
7 積立金取崩収入	1 積立金取崩収入	0	0	0	
8 繰越金収入	1 繰越金収入	5,369,297	1,917,154	3,452,143	
合 計		29,404,897	23,066,154	6,338,743	

(1) 収入の部

(単位：円)

科	目	補正 予算額	当初 予算額	比較増減 (△)	摘 要
款	項				
1 事業費		14,040,000	11,840,000	2,200,000	
	1 大会費	2,000,000	2,000,000	0	川崎医療福祉大学
	2 機関誌刊行費	5,800,000	5,700,000	100,000	社会福祉学40-1, 2 刊行費・郵送費
	3 部会還元費	2,150,000	2,000,000	150,000	
	4 特別委員会費	500,000	100,000	400,000	ホームページ委員会・広報委員会
	5 特別事業費	2,000,000	0	2,000,000	英文誌刊行費
	6 学会ニュース刊行費	1,350,000	1,800,000	△ 450,000	1号当 (126,000+324,000)×3 刊行費・郵送費
	7 選挙管理費	0	0	0	
	8 学術会議費	240,000	240,000	0	日本学術会議研究連絡委員会活動協力金
2 事務費		10,800,000	10,030,000	770,000	
	1 会議費	350,000	250,000	100,000	理事会等
	2 理事会運営費	1,300,000	1,500,000	△ 200,000	理事旅費・活動費等
	3 消耗品費	350,000	280,000	70,000	印刷用紙・事務用品費
	4 印刷費	800,000	800,000	0	封筒印刷・入会のしおり
	5 通信費	800,000	1,000,000	△ 200,000	郵券料金等
	6 人件費	4,000,000	4,000,000	0	事務局職員給与・アルバイト手当等
	7 交通費	200,000	200,000	0	事務局職員・アルバイト出張交通費
	8 事務所費	3,000,000	2,000,000	1,000,000	事務所賃借料・光熱費・電話料 整備費200,000・パソコン260,000
3 特別会計繰出	1 特別会計繰出	2,000,000	0	2,000,000	名簿作成費(特別会計)積立
4 予備費	1 予備費	2,564,897	1,196,154	1,368,743	
合 計		29,404,897	23,066,154	6,338,743	



特別会計(1) 1999年度日本社会福祉学会運営基金会計補正予算

自1999年4月1日 至2000年3月31日

(1) 収入の部 (単位: 円)

科 款	目 項	補正予算額	当初予算額	比較増減 (△)	摘 要
1 前年度繰越金	1 前年度繰越金	629,467	50,000	579,467	
2 一般会計繰入金	1 一般会計繰入金	2,000,000	0	2,000,000	
3 利 子	1 利 子	1,000	0	1,000	
合 計		2,630,467	50,000	2,580,467	

(2) 支出の部

科 款	目 項	補正予算額	当初予算額	比較増減 (△)	摘 要
1 名簿作成費	1 名簿作成費	0	0	0	
2 予 備 費	1 予 備 費	2,630,467	50,000	2,580,467	
合 計		2,630,467	50,000	2,580,467	

特別会計(2) 1999年度日本社会福祉学会特別事業会計補正予算

自1999年4月1日 至2000年3月31日

(1) 収入の部 (単位: 円)

科 款	目 項	補正予算額	当初予算額	比較増減 (△)	摘 要
1 前年度繰越金	1 前年度繰越金	692,129	382,000	310,129	
2 事業費繰入	1 事業費繰入	0	0	0	
3 特別事業費積立金繰入	1 特別事業費積立金繰入	0	0	0	
4 利 子	1 利 子	100	500	△ 400	
5 雑 収 入	1 雑 収 入	0	0	0	
合 計		692,229	382,500	309,729	

(2) 支出の部

科 款	目 項	補正予算額	当初予算額	比較増減 (△)	摘 要
1 事業費	1 事業費	0	0	0	
2 会議費	1 会議費	300,000	300,000	0	会議諸費
3 予 備 費	1 予 備 費	392,229	82,500	309,729	
合 計		692,229	382,500	309,729	

特別会計(3) 1999年度日本社会福祉学会助成金事業会計補正予算

自1999年4月1日 至2000年3月31日

(1) 収入の部 (単位: 円)

科 款	目 項	補正予算額	当初予算額	比較増減 (△)	摘 要
1 前年度繰越金	1 前年度繰越金	2,101,704	122,000	1,979,704	
2 助成金収入	1 助成金収入	0	1,500,000	△ 1,500,000	安田火災記念財団助成
3 利 子	1 利 子	500	1,000	△ 500	
合 計		2,102,204	1,623,000	479,204	

(2) 支出の部

科 款	目 項	補正予算額	当初予算額	比較増減 (△)	摘 要
1 研究費	1 研究費	0	200,000	△ 200,000	
2 会議費	1 会議費	0	300,000	△ 300,000	
3 出版費	1 出版費	0	1,000,000	△ 1,000,000	
4 繰出金	1 繰出金	2,000,000	0	2,000,000	一般会計繰入し、英文誌刊行に当てる
5 予 備 費	1 予 備 費	102,204	123,000	△ 20,796	
合 計		2,102,204	1,623,000	479,204	

第3号議案

2000年度

日本社会福祉学会事業計画

1. 日本社会福祉学会第48回大会を日本女子大学において開催し、会員の研究発表の機会の確保と、学会の研究水準の向上に資する。日本社会福祉学会第49回大会は琉球大学を中心に沖縄県で開催することとし、所要の準備をすすめる。

2. 大会における報告部会の設定、報告時間、質疑等のあり方について検討を重ね、研究水準の向上につとめる。

3. 学会機関誌『社会福祉学』を年2回発行し、学会機関誌としての社会的認知と役割を向上させながら、会員による研究発表の機会の拡大につとめる。また、英文による機関誌(JAPANESE JOURNAL OF SOCIAL SERVICES)の刊行をめざして準備をすすめる。

4. 1996年度に開始した特別事業である①記念刊行物の刊行、②英文誌発行、③助成金による国際比較のあり方に関する研究をする。①と③については第18期理事会(95年11月から98年10月まで任期)の責任で遂行する。

5. 学会ニュースの充実と定期発行につとめ、会員への情報の周知徹底をはかる。

6. 地方部会への還元金の有効活用を促進し、地方学会設立への展望を含めて、各ブロックによる自主的活動の活性化を支援する。

7. 日本学術会議の事業および福祉研連、学協会に対し、社会福祉研究推進の立場から協力する。

8. 日本学術会議登録団体および他



の関係学会・団体との協力を深め、国内ならびに国際的な視野のもとに、社会福祉研究水準の向上につとめる。

9. ホームページ委員会を運営し、コンピューターによるホームページを開き、学会の活動を掲載し、会員に情報を提供する。掲載の内容については、広報委員会の了解のもとに、当面日本語版の「入会のしおり」「機関誌『社会福祉学』もくじ」「学会ニュース（No.21より）」について提供する。

10. 学会の事務の一部委託のあり方について検討する。

11. 日本社会福祉学会50回記念大会（2002年）企画準備委員会を発足させる。

12. 関係団体との連携を強めつつ、わが国における社会福祉の研究・教育の基礎整備につとめる。

2000年度日本社会福祉学会会計予算

自2000年4月1日 至2001年3月31日

(単位：円)

(1) 収入の部

科	目	予 算 額	前 年 予 算 額	比較増減 (△)	摘 要
款	項				
1 会費収入	1 会費収入	22,710,600	21,520,600	1,190,000	3548人×0.85×7,000=21,110,600円 200人×8,000=1,600,000円
2 機関誌売上	1 機関誌売上	500,000	500,000	0	「社会福祉学」100冊×5000円
3 寄付金収入	1 寄付金収入	0	0	0	
4 補助金収入	1 補助金収入	0	0	0	
5 雑収入		15,000	2,015,000	△ 2,000,000	
	1 事業費繰入	0	2,000,000	△ 2,000,000	(特別会計(3)より)
	2 預金利子	5,000	5,000	0	銀行利子
	3 その他	10,000	10,000	0	資料代
6 繰越金収入	1 繰越金収入	2,564,897	5,369,297	△ 2,804,400	
合 計		28,355,394	29,404,897	△ 1,049,503	

(2) 支出の部

科	目	予 算 額	前 年 予 算 額	比較増減 (△)	摘 要
款	項				
1 事業費		12,400,000	14,040,000	△ 1,640,000	
	1 大会費	2,000,000	2,000,000	0	日本女子大学
	2 機関誌刊行費	6,100,000	5,800,000	300,000	社会福祉学 41-1, 2 刊行費・郵送費
	3 部会還元費	2,150,000	2,150,000	0	
	4 特別委員会費	500,000	500,000	0	ホームページ委員会・広報委員会
	5 特別事業費	0	2,000,000	△ 2,000,000	(JJSS 刊行費)
	6 学会ニュース刊行費	1,410,000	1,350,000	60,000	1号当(128,000+342,000)×3刊行費・郵送費
	7 選挙管理費	0	0	0	
	8 学術会議費	240,000	240,000	0	日本学術会議研究連絡委員会活動協力金
2 事務費		10,850,000	10,800,000	50,000	
	1 会議費	400,000	350,000	50,000	理事会等
	2 理事会運営費	1,500,000	1,300,000	200,000	理事旅費・活動費等
	3 消耗品費	350,000	350,000	0	印刷用紙・事務用品等
	4 印刷費	800,000	800,000	0	封筒印刷・入会のしおり印刷
	5 通信費	800,000	800,000	0	郵送料金等
	6 人件費	4,200,000	4,000,000	200,000	事務局職員給与・アルバイト手当等
	7 交通費	300,000	200,000	100,000	事務局職員・アルバイト出張交通費
	8 事務所費	2,500,000	3,000,000	△ 500,000	事務所賃借料・光熱費・電話料・整備費
3 特別会計繰出	1 特別会計繰出	3,000,000	2,000,000	1,000,000	特別会計(1) 200万円・特別会計(2) 100万円
4 予備費	1 予備費	2,105,394	2,564,897	△ 459,503	
合 計		28,355,394	29,404,897	△ 1,049,503	

特別会計(1) 2000年度日本社会福祉学会運営基金会計予算

自2000年4月1日 至2001年3月31日

(単位：円)

(1) 収入の部

科	目	予 算 額	前年予算額	比較増減 (△)	摘 要
款	項				
1 前年度繰越金	1 前年度繰越金	2,630,467	629,467	2,001,000	
2 一般会計繰入金	1 一般会計繰入金	2,000,000	2,000,000	0	一般会計より
3 利子	1 利子	1,000	1,000	0	
合 計		4,631,467	2,630,467	2,001,000	

(2) 支出の部

科	目	予 算 額	前年予算額	比較増減 (△)	摘 要
款	項				
1 名簿作成費	1 名簿作成費	0	0	0	
2 予備費	1 予備費	4,631,467	2,630,467	2,001,000	2001年度作成時まで積立
合 計		4,631,467	2,630,467	2,001,000	

特別会計(2) 2000年度日本社会福祉学会特別事業会計予算

自2000年4月1日 至2001年3月31日

(単位：円)

(1) 収入の部

科	目	予 算 額	前年予算額	比較増減 (△)	摘 要
款	項				
1 前年度繰越金	1 前年度繰越金	392,229	692,129	△ 299,900	
2 事業費繰入	1 事業費繰入	0	0	0	
3 特別事業費積立金繰入	1 特別事業費積立金繰入	1,000,000	0	1,000,000	一般会計より
4 利子	1 利子	100	100	0	
5 雑収入	1 雑収入	0	0	0	
		1,392,329	692,229	700,100	

(2) 支出の部

科	目	予 算 額	前年予算額	比較増減 (△)	摘 要
款	項				
1 事業費	1 事業費	0	0	0	
2 会議費	1 会議費	300,000	300,000	0	会議諸費
3 予備費	1 予備費	1,092,329	392,229	700,100	
合 計		1,392,329	692,229	700,100	



特別会計(3) 2000年度日本社会福祉学会助成金事業会計予算

自2000年4月1日 至2001年3月31日

(1) 収入の部

(単位: 円)

科 款	目 項	予 算 額	前年予算額	比較増減 (△)	摘 要
1 前年度繰越金	1 前年度繰越金	102,204	2,101,704	△ 1,999,500	
2 助成金収入	1 助成金収入	0	0	0	
3 利 子	1 利 子	0	500	△ 500	
合 計		102,204	2,102,204	△ 2,000,000	

(2) 支出の部

科 款	目 項	予 算 額	前年予算額	比較増減 (△)	摘 要
1 研 究 費	1 研 究 費	0	0	0	
2 会 議 費	1 会 議 費	0	0	0	
3 出 版 費	1 出 版 費	0	0	0	
4 繰 出 金	1 繰 出 金	0	2,000,000	△ 2,000,000	
5 予 備 費	1 予 備 費	102,204	102,204	0	
合 計		102,204	2,102,204	△ 2,000,000	

第4号議案

機関誌編集委員会規程

- (設置) 日本社会福祉学会理事会運営内規第3条に基づき機関誌編集委員会(以下「委員会」)をおく。
- (任務) 委員会は、日本社会福祉学会の機関誌「社会福祉学」の発行につき、編集・原稿依頼・投稿論文の審査・刊行などの任務を行う。
- (構成) 委員会は、委員長、副委員長、委員で構成される。
 - 編集委員長は担当理事があたり、副委員長は委員の互選により選任する。
 - 委員は理事会の議に基づき、会長が委嘱する。理事会は、地方部会の推薦、専攻分野を考慮して、10名以内を選任する。
- (任期) 委員長、副委員長、委員の任期は3年とする。
 - ただし、再任は妨げない。
- (査読委員の委嘱) 投稿論文の審査のため、査読委員をおく。
 - 査読委員は委員会の推薦に基づき、会長が委嘱する。
 - 査読委員の任期は3年とする。
 - 前項の査読委員のほかに、会長は編集委員会の推薦に基づき、特定の論文を審査するため臨時委員を委嘱することができる。
 - 査読委員は、編集委員会の依頼により、投稿論文を審査し、その結果を委員会に報告する。
 - 編集委員会は、査読委員の審査報告に基づいて、投稿論文の採否、修正指示等の措置を決定する。
- (拡大編集委員会) 編集委員長は、原則として年1回、大会期間中に編集委員と査読委員から構成する拡大編集委員会を招集する。
 - 拡大編集委員会は、機関誌編集および審査制度に関する基本事項について協議する。

付則 1. 現編集委員会の委員は、現理事会の任期に同じとする。

2. 本規程の改訂は2000年1月就任の査読委員より発効する。

機関誌編集規程

- (名称) 本誌は、日本社会福祉学会の機関誌『社会福祉学』(Science of Social Welfare)と称する。
- (目的) 本誌は、原則として本会会員の社会福祉研究の発表および海外における同学者の発表にあてる。
- (発行) 本誌は、原則として1年1巻とし、2号に分けて発行するものとする。
- (内容) 本誌に、論文・実践報告・資料解題・調査報告・海外社会福祉研究・書評・学会彙報などの各欄を設ける。
- (編集) 本誌の編集は、理事会運営内規第3条に基づき機関誌編集委員会(以下、「委員会」)が行う。
- (委員会の役割) 原稿の掲載は、委員会の決定による。
- (執筆要領) 原稿の執筆は、所定の執筆要領にしたがう。
- (事務局) 編集事務局は、日本社会福祉学会事務局に置く。

◎報告事項 会員数の現況

	A (1999.10.1 現在)	%	B (1998.10.1 現在)	%	増減(A-B) (△)
会 員 総 数	3,496名	100%	3,276名	100%	220名
北海道部会	138名	4.0%	142名	4.3%	△ 4名
東 北 部 会	215名	6.1%	191名	5.9%	24名
関 東 部 会	1,292名	37.0%	1,233名	37.7%	59名
中 部 部 会	413名	11.8%	366名	11.1%	47名
関 西 部 会	769名	22.0%	737名	22.5%	32名
中・四国部会	315名	9.0%	318名	9.7%	△ 3名
九 州 部 会	327名	9.4%	266名	8.1%	61名
その他(海外 居住者等)	27名	0.7%	23名	0.7%	4名

●含名誉会員 7名

●1998年10月～1999年9月 新入会員数 353人

1999年度第2回 理事会報告

○ 出席者・別記

会長弔意および挨拶

長年学会でご尽力いただいた大塚達夫先生、上田千秋先生、三和治先生が続いてご逝去されましたので、黙祷をして弔意を表した。

第1号議案 第47回大会（川崎医療福祉大学）について

- ・川崎医療福祉大学関谷医療福祉学部長より挨拶
- ・竹内一夫大会事務局長より説明
中国地方では初めての大会開催となる。
事前、申し込みは約900名。2000名の対応をしている。
- 資料袋は、小規模作業所6か所で作ってもらい、大会名の入ったシールを貼っただけなので、終わった後普段に使っていただきたい。

第2号議案

▶ 第48回大会（日本女子大学）について

秋元樹事務局長より説明

- ・呼称は通称として「2000年学会」を用いる。
- ・期日は、2000年11月3日（金・文化の日）および4日（土）を予定
- ・大会テーマ「新しい社会福祉の知と実践をもとめて」

▶ 第49回（琉球大会）について

琉球大学と沖縄国際大学を中心に開催する。
大会委員長は川添雅由琉球大学教授。

▶ 第50回（日本社会事業大学）について

教授会で決定した。

第3号議案 機関誌『社会福祉学』にかかわる検討事項について

機関誌担当白澤政和理事より説明

▶ 機関誌編集委員会規程の改正

- ・「5.（査読委員の委嘱）3 査読委員の任期は3年とする」機関誌担当理事の任期との関係で、2年を前任理事、1年を後任理事の元で活動する。

▶ 機関誌編集規程の改正

- ・機関誌『社会福祉学』の投稿論文の分類を、「論文、実践報告、資料解題、調査報告」に分ける。「文献登録」についてはその使命が終わった事とホームページを利用していくことで削除

1999年度第2回理事会出欠状況

		8日	9日	10日
会 長	大橋 謙策	○	○	○
会長職務代行・関西担当理事	岡本 民夫	○	○	○
総 務 担当理事	高橋 重宏	○	○	○
研 究 担当理事	小田 兼三	○	○	○
渉 外 担当理事	古川 孝順	○	○	○
機関誌 担当理事	白澤 政和	○	○	○
庶 務 担当理事	田端 光美	○	○	○
北海道 担当理事	杉村 宏	×	×	×
東 北 担当理事	佐藤 嘉夫	○	○	○
関 東 担当理事	山崎美貴子	○	○	○
中 部 担当理事	高島 進	○	○	○
中四国 担当理事	鈴木 勉	○	○	○
九 州 担当理事	保田井 進	○	○	○
理 事	一番ヶ瀬康子	○	○	○
理 事	右田紀久恵	○	○	○
理 事	岡本 栄一	○	○	○
理 事	京極 高宣	×	○	○
理 事	田代国次郎	○	○	○
理 事	三浦 文夫	○	○	○
理 事	宮田 和明	×	○	○
監 事	佐藤 進	○	○	×
監 事	中垣 昌美	○	○	×

▶オブザーバー出席 ・竹内一夫（第47回大会事務局長）……8日のみ
・秋元 樹（第48回大会事務局長）……8日のみ

▶事 務 局 1名

する。また「学会彙報」を「学会ニュース」に代える。さらに「編集事務局は、日本社会福祉学会事務局」とする。

▶ 機関誌『社会福祉学』執筆要領の改正

- ・版型を変えることに伴い、投稿論文の原稿スタイルを変えること、「注」や「引用文献」の表記を統一することなど「執筆細目」を細かくした。

▶ 機関誌『社会福祉学』版型の変更

従来のA5判からB5判に変更し、表紙をカラーにする。

以上について承認

第4号議案 会員の入会審査について

80名について承認（氏名は11頁に掲載）。

- ・今後会員の推薦人に会費滞納者は認めないという姿勢がほしい。

第5号議案 第48回・第49回・第50回大会における理事会主導の事業について

研究担当理事を委員長に、理事を中心にして系統的にシンポジウムなどを運営する研究プロジェクトをつくり、理事会と大会開催校とが連携していく形をとっていく。理事の委員は運営委員があたることが提案され承認される。

（大橋謙策会長、岡本民夫会長職務代理理事、高橋重宏総務理事、小田兼三研究担当理事、古川孝順渉外担当理事、白澤政和機関誌担当理事、田端光美庶務担当理事）

第6号議案 日本学術会議の会員候補および推薦人の選挙について

理事による選挙を1月に行う。



第7号議案 科学研究費の審査に関する体制について

- ・平成12年度の審査については、従来日本社会学会がしてきた審査の方法を踏襲することを承認。
- ・「社会福祉学助成研究費振興委員会」(仮称)の設置を承認。
- ・本学会が福祉研連を代表して、科学研究費の審査業務に係わることを承認。

第8号議案 韓国社会福祉学会会長の招待および交流について

- ・第47回全国大会に韓国社会福祉学会会長と事務局長をご招待し、今年10月22日、23日に開催する韓国社会福祉学会に日本社会福祉学会会長と事務局長がご招待を受けた。これを契機に両国の交流を深める。
- ・交流の規程を作成したほうがよいが、初回の交流が終わってから検討する。

第9号議案 英文誌(JJSS)の発行について

- 学会ニュース22号で再募集をしている。2年に1冊は無理になっている。

第10号議案 学会役員の逝去にかかわる対応について

- 学会役員および役員経験者の逝去の際、弔電等の対応に不手際のないよう内規を設定する。
- ・今後は被災された方への援助も検討課題とする。

第11号議案 その他

- ▶ 「ヒューマンケアサービス従事者養成・研修研究協議会」について
介護福祉士学会等も入れ横断的に取り組みたい。日本社会事業学校連盟の総会が、11月にあるので、次の理事会で結果をご報告する。
- ▶ 地方部会還元金について
従来の算出方法から北海道、東北、中四国は地域の活性化のため増額し、中部、九州は広い地域性をカバーするため増額する方向で検討する。
- ▶ 大会欠席者の対応について
新幹線の事故による理由からと思われるが、170名の欠席があった。返金の要求もあるが、災難を被ったのは学会も被っているので、返金には応じられないが、「発表要旨集」は送付する。

◎大会事務局より

- ・大会参加者は約1500名
- ・初めて「事務センター」に依頼したが、ブレインと機能が分離したために煩雑さもあったが、概ね良かった。
- ・大会では発表は1回しかできないが、自主シンポジウムとの兼ね合いをどうするのか。
- ・ポスターセッションは良かったのではないかな。

新入会員

80名

1999. 10

芦田 麗子	種智院大学
李 仁之	聖カタリナ女子大学
李 美善	東京都立大学大学院
伊藤 則博	北海道教育大学旭川校
井上 修一	大妻女子大学
井上 深幸	特別養護老人ホーム サウスヴィラ桃山
岩崎 清	北海道教育大学旭川校
岩崎 貞徳	比治山大学短期大学部
岩本 博美	専門学校新国際福祉カレッジ
内本 充統	北九州保育福祉専門学校
梅永 雄二	明星大学
江木 一紀	佛教大学大学院
大宅 顕一郎	西九州大学
岡本 芳也	華頂社会福祉専門学校
尾里 育士	大妻女子大学
小田 篤美	明治学院大学大学院
香川 スミ子	聖カタリナ女子大学
角田 春高	愛知学泉女子短期大学
笠木 秀樹	新見公立短期大学
片岡 繁雄	北海道教育大学旭川校
金井 一薫	日本社会事業大学
川上 吉昭	東北福祉大学
北 正美	社会福祉法人英水会
木下 勇	千葉大学
金 修正	同志社大学大学院
黒岩 亮子	日本女子大学大学院
小坂 啓史	武蔵大学大学院
小林 巳紗	愛知県立保育大学
齋藤 雪彦	千葉大学大学院
佐々木 昭夫	日本大学大学院
佐藤 一彦	秋田桂城短期大学
澤 伊三男	専門学校日本福祉学院
芝木 美沙子	北海道教育大学旭川校
志水 田鶴子	東北文化学園専門学校
志村 祐子	東北福祉大学
下垣 光	日本社会事業大学
城島 泰伸	福岡県立大学
神野 英明	長野大学
鈴木 聖子	岩手県立大学
鈴木 陽子	早稲田大学
清宮 宏臣	植草学園短期大学
辰巳 隆	聖和大学
田中 邦夫	国立国会図書館
崔 東日	桜美林大学大学院
塚田 典子	日本大学大学院
佃 公子	相模原協同病院
網本 幸子	生駒市家庭児童相談室
富樫 八郎	春日部市立病院
十東 支朗	日本社会事業大学大学院
中川 るみ	みどりの森社会福祉士ファーム
中島 史朗	大塚化学(株)
中西 幸恵	滋賀県心の教育相談センター
中村 攻	千葉大学
長坂 和則	こころの会タカハシクリニック
西浦 功	日本女子大学
西島 博	社会福祉法人興望館
西脇 早苗	社会福祉法人サン・ビジョン
根本 嘉昭	立正大学
羽田 新	弘前学院大学
馬場 清	浦和短期大学
比嘉 昌哉	沖縄女子短期大学
檜垣 昌也	流通経済大学大学院
樋口 京子	日本福祉大学大学院
平井 保	佐野国際情報短期大学
深堀 由美	西九州大学大学院
福渡 靖	山野美容芸術短期大学
藤井 好子	聖十字福祉専門学校
藤丸 千尋	西九州大学大学院
富士原 柳子	岡山県立大学大学院
松尾 誠治郎	久留米大学
丸 紀和子	アサヒサンクリーン株式会社
丸山 晃	東洋大学大学院
見平 隆	高浜専門学校
柳田 純子	東京情報大学
山形 積治	北海道教育大学旭川校
山口 雅功	立正大学
山下 英三郎	日本社会事業学校
山中 京子	東京都衛生局医療福祉部エイズ対策室
山本 亨子	流通経済大学大学院
若狭 重克	北海道高齢者総合相談センター

事務局短信

社会福祉学会大会運営について

研究担当理事 小田兼三

最近、毎年のように大会開催校からのご報告に、運営上の問題が指摘され、すでに一部の運営方法を変更して改善をはかってきましたが、川崎医療福祉大学の竹内一夫事務局長のご報告にありますように、今回も速やかに検討を要する問題が指摘されました。これらについては理事会で検討し、大会運営の改善をはかっていきたいと考えておりますので、会員各位には今後ともご協力下さいますよう、お願い申し上げます。

日本学術会議会員候補

および推薦人の届け

1999年12月から2000年1月にわたって選挙(選挙権は理事・監事、被選挙権は学会員)が実施され

日本学術会議会員候補者として

大橋謙策会員

推薦人として 高橋重宏会員

田端光美会員

古川孝順会員

推薦人予備者として 田代国次郎会員を届けました。

推薦人会議は、5月10日に開かれますので、「社会福祉・社会保障」の日本学術会議会員はこの日に決定いたします。

他学会の2000年度全国大会の予定

◆社会事業史学会：第2回社会事業史学会大会

・2000年5月13日(土)～14日(日)
・東京都立大学

◆日本医療社会福祉学会：第10回日本医療社会福祉学会

・2000年10月21日(土)～22日(日)
・兵庫医科大学

◆日本介護福祉学会：第8回日本介護福祉学会大会

・2000年9月8日(金)～9日(土)
・梅花女子大学

◆日本児童学会：日本児童学会総会

・2000年6月ごろ 未定

◆日本社会福祉実践理論学会：日本社会福祉実践理論学会第17回大会

・2000年7月1日(土)～2日(日)
・大妻女子大学

◆日本地域福祉学会：第13回日本地域福祉学会全国大会

・2000年6月10日(土)～11日(日)
・岩手県立大学

◆日本難病看護学会：第5回日本難病看護学会学術集会

・2000年8月18日(金)～19日(土)
・三鷹市公会堂

◆日本老年社会学会：日本老年社会学会第42回大会

・2000年7月6日(木)～7日(金)
・かでる2・7(札幌市)

◆日本社会事業学校連盟：日本社会事業学校連盟大会

・2000年10月7日(土)～8日(日)
・湯田温泉(山口県)

日本社会福祉学会記念誌

『戦後社会福祉の総括と
21世紀への展望』の発刊

400ページ・A4版・3500円
発行 ドメス出版

第47回学会全国大会に合わせ、第1巻が発行されました。記念誌は第4巻まで企画されていますが、続巻は執筆中です。

第1巻の執筆者のご好意により、原稿料は学会にご寄付いただきましたので、日本社会事業学校連盟の正会員の図書館に1冊寄贈いたしました。

1998年度特別事業として行われた「社会福祉の国際比較のあり方研究」については下記の予定で刊行されます。

阿部志郎・井岡勉編
「社会福祉の国際比較
—研究の視点・方法と検証」

2000年3月末 有斐閣

JJSS編集委員会

延期していたJAPANESE JOURNAL OF SOCIAL SERVICES 第2号を編集中です。

5月に発行予定ですので、ご利用下さい。

事務局連絡

●3月は学会会計も年度末です。会費未納入の方は早目に納入してください。とくに新入会員の方は入会費ともにお忘れなく。未納が続きますと、『社会福祉学』『学会ニュース』等の情報提供ができない場合があります。

●次回の理事会は3月5日(日)です。入会ご希望の方は2月末までにお申込みください。秋の大会で発表を予定されている方は3月まで(実質理事会まで)に会員になっていないとではなりません。

●学会ニュース22号1頁に誤字があり、ご迷惑をおかけしました。

「済世顧問制度」が正しいものです。おわびを申し上げます。

学会ニュース 編集後記

にぎにぎしく明けた2000年も、新年早々の運営委員会や日本学術会議関係の委員会などで、あわただしく過ぎた1ヵ月でした。今年もどうぞよろしくお願い致します——事務局スタッフ一同。

田端光美(庶務担当理事)

* *
発行人 大橋 謙策 学会ニュース23号
編集人 高橋 重宏
発行日 2000年2月3日
発行 日本社会福祉学会
〒160-0008 東京都新宿区三栄町8
森山ビル西館501
TEL.03-3356-7824 FAX.03-3358-2204
Email jssw@ma3.justnet.ne.jp
URL http://www.soc.nacsis.ac.jp/jssw/
(印刷/南原孔版)
* *